

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分
 【発行日】平成 24 年 2 月 2 日 (2012.2.2)

【公開番号】特開 2009-190403 (P2009-190403A)
 【公開日】平成 21 年 8 月 27 日 (2009.8.27)
 【年通号数】公開・登録公報 2009-034
 【出願番号】特願 2009-30671 (P2009-30671)
 【国際特許分類】

B 4 1 J 2/175 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 2 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 12 月 12 日 (2011.12.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

固形インクスティックであって、同インクスティックが、

上面と、底面と、上面と底面間に広がる複数の側面とを有するインクスティック本体であって、その周辺部が前記複数の側面により規定されるインクスティック本体と、

上面と底面間に少なくとも部分的に広がる前記複数の側面の少なくとも一つの側面に形成される少なくとも一つのキー輪郭であって、前記インクスティック本体の周辺部の少なくとも一部を形成する少なくとも一つのキー輪郭と、

インクスティック本体の周辺部の少なくとも一部に沿って形成される確認マークと、を
 備え、

その確認マークの一部が、前記キー輪郭の少なくとも一部分をなぞって設けられ、

前記確認マークの少なくとも一部は、前記少なくとも一つのキー輪郭によって形成される周辺部の少なくとも一部を含む凹であって、前記インクスティック本体の周辺部内の凹である、

ことを特徴とする固形インクスティック。

【請求項 2】

請求項 1 の固形インクスティックであって、

同インクスティックの本体が、相変化インク使用の画像形成装置のインク装填部に向かう挿入方向に挿入口を通して挿入されるように構成され、当該インクスティック本体の底面が最初にインク装填部の挿入口を通過し、当該インクスティック本体の上面が最後にインク装填部の挿入口を通過するように構成される、ことを特徴とする固形インクスティック。

【請求項 3】

請求項 2 の固形インクスティックであって、

同インクスティックの本体の周辺部は、挿入方向と実質的に垂直な平面に配置され、

前記確認マークが、前記インクスティック本体内のキー輪郭の追加または削除に応じて確認マークが修正されるように前記インクスティック本体の側面に沿って延びる、

ことを特徴とする固形インクスティック。

【請求項 4】

請求項 3 の固形インクスティックであって、

前記確認マークが、前記インクスティック本体の側面の周辺部全体に沿って実質的に連続的に延びる、ことを特徴とする固形インクスティック。

【請求項 5】

請求項 1 のインクスティックであって、

前記インクスティック本体の側面により規定される周辺部は、前記固形インクスティックを確認するために構成された視認できる印に相当する、ことを特徴とする固形インクスティック。

【請求項 6】

請求項 5 に記載のインクスティックであって、

前記確認マークは前記複数の側面と上面をつなぐ端部に沿って形成されている、ことを特徴とする固形インクスティック。

【請求項 7】

相変化インク使用の画像形成装置のインク装填口に装填されるインクスティックであって、

相変化インク使用の画像形成装置のインク装填部に装填方向に挿入され、上面、底面、および、前記上面および底面間に広がる複数の側面を有するインクスティック本体であって、前記複数の側面により給送周辺部が形成されるインクスティック本体と、

前記インクスティック本体の給送周辺部に形成され、少なくとも一部が、少なくとも一つの側面に沿って前記挿入方向に実質的に平行な方向に延びる少なくとも一つのキー輪郭と、

前記挿入方向に直交し、前記給送周辺部に沿って実質的に連続して延びるように形成される確認マークと、

を備え、

前記インクスティック本体は、前記インクスティック本体を前記挿入方向に向けて前記挿入開口に挿入した際、前記上面が挿入開口に入る前に、前記底面が挿入開口に入るように構成されており、

前記確認マークの一部は、前記キー輪郭の少なくとも一部分をなぞって設けられ、

前記確認マークの少なくとも一部は、前記少なくとも一つのキー輪郭の一つによって形成される給送周辺部の少なくとも一部を含む凹であって、前記給送周辺部内の凹である、ことを特徴とするインクスティック。

【請求項 8】

請求項 7 に記載のインクスティックであって、

前記確認マークは、前記上面と前記複数の側面をつなぐ端部に沿って形成される、ことを特徴とするインクスティック。

【請求項 9】

請求項 8 に記載のインクスティックであって、

前記確認マークは、前記インクスティック本体の内部に向かって延びる深さを有し、

前記確認マークの深さは、前記確認マークの部分によって変わる、

ことを特徴とするインクスティック。

【請求項 10】

インクスティックを製造する方法であって、

上面と、底面と、前記上面および底面の間に広がるとともに周辺部を規定する複数の側面と、を含むインクスティック本体を製造するステップと、

少なくとも一つの側面に、前記インクスティック本体の周辺部の少なくとも一部を構成するキー輪郭を少なくとも一つ形成するステップと、

その一部が前記少なくとも一つのキー輪郭をなぞった確認マークであって、前記確認マークの一部を含む前記周辺部の少なくとも一部に沿う確認マークを形成するステップと、を備え、

前記確認マークの少なくとも一部は、前記インクスティック本体の周辺部内の凹であって、前記少なくとも一つのキー輪郭によって形成される周辺部の一部を含む凹である、

ことを特徴とする製造する方法。